

長寿社会のまちづくりを考えるシンポジウム

多世代が安心して住み続けられる まちづくりを目指して

～ 産学官民の連携による地域づくり ～

入場
無料

定員150名・要申込



「長寿社会のまちづくり」は、少子高齢化に対応した「多世代が住み慣れた地域で安心して住み続けられるまち」の実現に向けて、平成23年度から高齢化が進む郊外型戸建住宅地である今泉台住宅地をモデルに取組んできた研究プロジェクトです。

本シンポジウムは、こうした今泉台での取組経過や関係者の体験談を基に、本市が目指すべき「長寿社会のまちづくり」について、まちづくりの主役である自治・町内会の皆さん、市民活動団体の皆さんと共に考え、実践していく機会として開催いたします。

日時 平成28年

1月30日(土)

13:00-16:00 (受付12:40から)

場所 鎌倉市商工会議所

地下ホール (鎌倉市御成町17-29)

- 主催 NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台
- 共催 鎌倉市
- 申込・お問い合わせ
鎌倉市経営企画部政策創造課 樋口・齋藤
TEL : 0467-23-3000 (内線2793)
Mail: souzo@city.kamakura.kanagawa.jp



※駐車場のご用意はありません。車でお越しの際は、近隣の有料駐車場、もしくは市役所駐車場(有料)をご利用下さい。
※駐車場は混雑が予想されますので、可能な限り公共交通機関でのご来場をお願いいたします。

プロローグ

「長寿社会のまちづくりが目指すもの」

鎌倉市長
松尾 崇



基調講演

「長寿社会にふさわしい鎌倉のまちづくり」

東京大学高齢社会総合研究機構
特任教授
鎌倉市政策創造専門委員
秋山 弘子 氏



事例報告 (鎌倉市)

- ①「今泉台住宅地」での取組と今後の展望
- ②「大船地域づくり会議」での取組と今後の展望

パネルディスカッション

「多世代が安心して住み続けられるまちづくりを
目指して～産学官民の連携による地域づくり～」

ファシリテーター：鎌倉市政策創造専門委員
石井 和子 氏

パネリスト：長寿社会のまちづくりプロジェクト関係者ほか